



広島・山口 Area25
広島広域都市圏+尾道市の25市町

広島市立大学COC+ 地域に 目覚める

地域に貢献する人材の育成
[事業活動の紹介]

<参加校>

広島大学、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学
広島国際大学、広島修道大学、安田女子大学
広島商船高等専門学校

<協力校>比治山大学



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 広島市立大学COC+の取組

学生の地域志向マインドを育み 地元で活躍する人材を送り出す

◆事業のテーマ

地域の観光振興・活性化 / 学生の地域内就職率の向上

◆4つの取組

① 地域志向型の教育カリキュラム改革と実践

広島市立大学の「地域貢献特定プログラム」

② 地域に向き合う教育研究事業の実施

参加校協働によるアートプロジェクトなどの地域活動

③ 観光関連データベースの構築

地域の観光情報の集積と分析・活用

④ インターンシップの強化

学生の意識を地元企業に結びつける

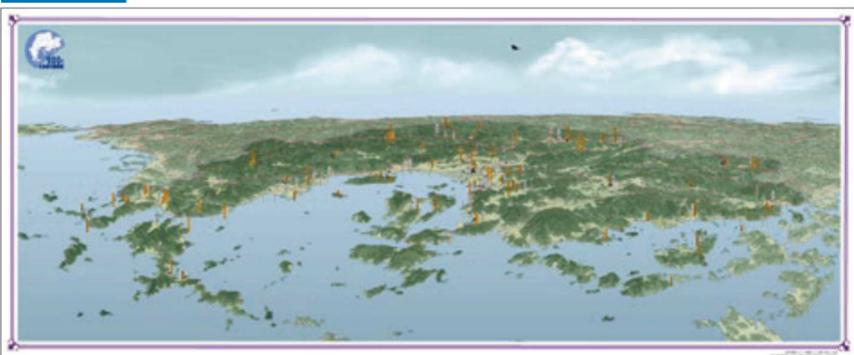
◆事業エリア(協働地域)

広島広域都市圏と尾道市の25自治体

地域政策と結びついたCOC+事業

事業エリアは、広島市を中心に地域経済や生活面で深い結びつきを持っている。行政が連携し「広島広域都市圏発展ビジョン」により圏域の活性化や、圏域内の将来人口200万人超の確保を目指して取り組んでいます。

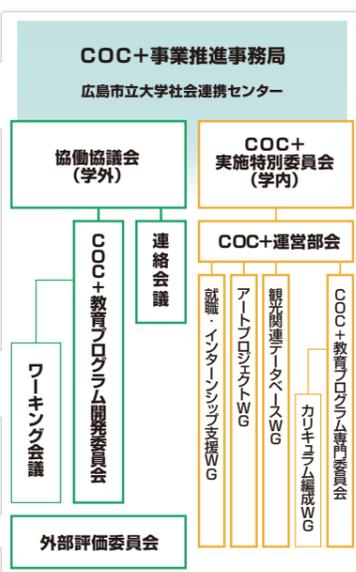
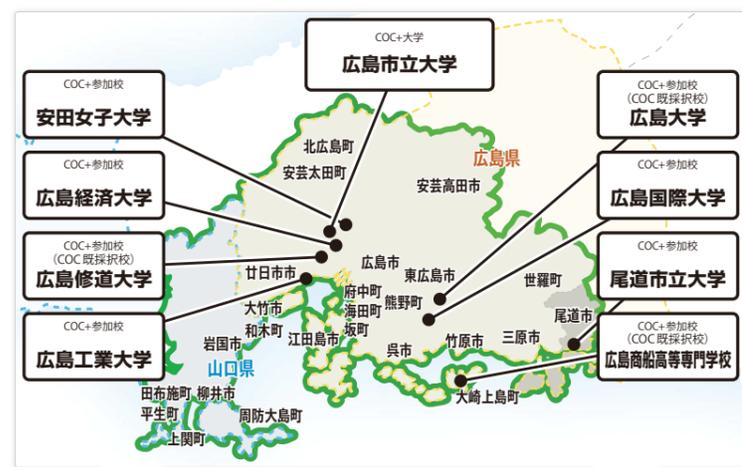
広島・山口
Area25



広島広域都市圏鳥瞰図(制作:芸術学部 笠原浩教授)



COC+の推進体制 9校のコンソーシアムを軸に自治体・企業と連携



COC+について
Center of Community+の略称。大学が地域課題の解決に取り組む「地(知)の拠点整備事業(COC)」がH25年度にスタートし、後継の事業として「COC+」がH27年度から開始されました。地方の創生に重きが置かれ、COC+の実施大学と参加大学、自治体、企業等が協働して、地域が求める人材を育成し、若年層の地元定着を推進する事業です。全国で42大学が選定されています。

自治体 教育プログラムの連携、施設提供、観光関連情報提供、インターンシップ支援等
NPO 観光関連情報提供、インターンシップ支援、協働事業の共催等
経済団体・企業等 観光関連情報提供、インターンシップ受入等

広島市立大学COC+の概要
事業名称...観光振興による「海の国際文化生活圏」創生に向けた人材育成事業
採択年月...H27年9月
事業期間...H27年度から5年間(予定)
協働機関...大学等9校、自治体25市町、企業等32団体の合計66機関
※事業の一部を協力する大学1校

目的...事業協働地域の課題である人口流出を、観光資源の活用によって改善することを目指し、カリキュラムの再編成等によって、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付き、地域の発展に貢献する人材」を育成し、課題解決に資する能力を養成する。

◆事業の目標値と進捗状況

区分	基礎指標 H26年度	進捗状況 H28年度	目標値 H31年度
事業地域への就職率(うち広島市立大学)	42.11%(37.24%)	42.32%(41.86%)	52.61%(50.24%)
事業協働機関へのインターンシップ参加者数(うち広島市立大学)	1,230人(60人)	1,227人(50人)	1,300人(70人)
事業協働機関からの寄付講座数(うち広島市立大学)	11講座(0講座)	15講座(0講座)	21講座(3講座)
事業協働機関雇用創出数	-	-	22人
事業協働機関による事業への満足度	-	97.9%	100%
アートプロジェクトへの市民参加者数	-	2,600人	2,500人
シンポジウムへの市民参加者数	-	174人	200人

活動拠点を整備 (広島市・廿日市市)

地域での教育研究を重点的に進める拠点として、学生・教員の活動や地域と交流するスペースを2か所設けています。

基町プロジェクト活動拠点「M98」



広島市立大学COC+宮島教育研究施設(通称:サテライトハウス宮島)



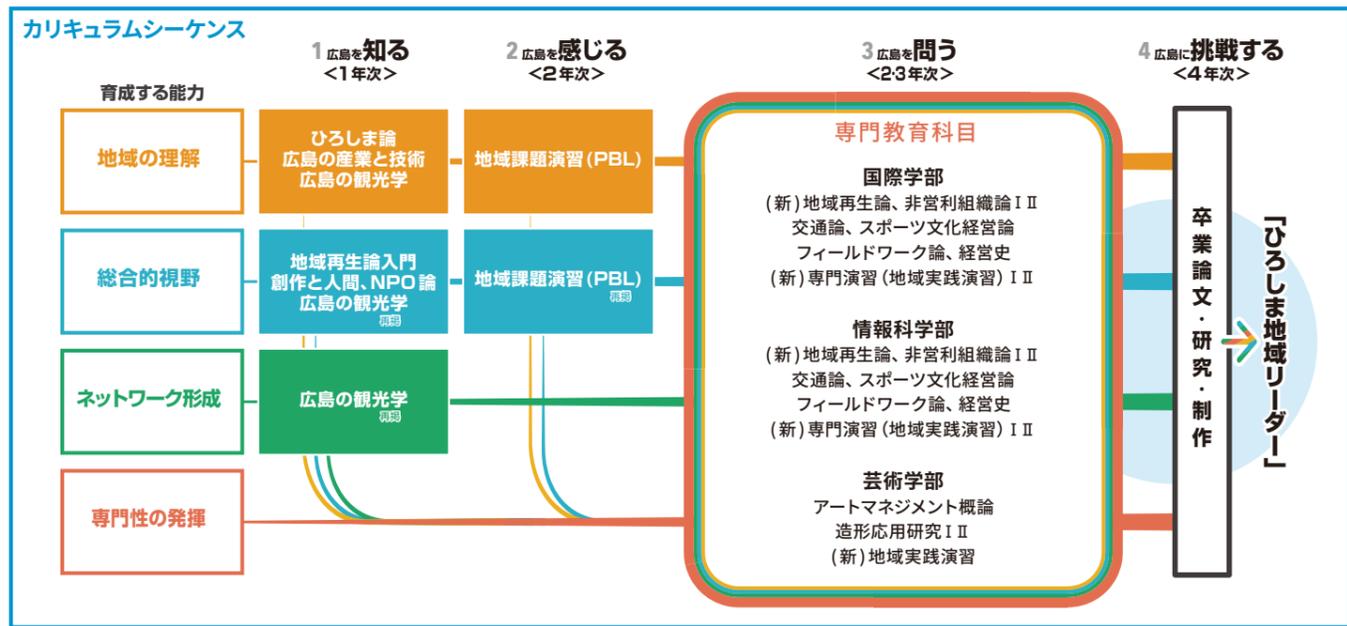
●基町プロジェクト活動拠点「M98」
[所在地] 広島市中区基町(市宮基町住宅内)
[開設年] H26年5月(H28・29年度に3つのスペースを追加整備)
[施設概要] 基町住宅の商店街の空き店舗をリノベーション。「M98<make>」(工房)、「M98<eat>」(キッチン)、「M98<join>」(展示交流)を、学生が参加して整備。
[活用内容] スタッフ運営スペース。地域住民との会合。工房やキッチン等を活用した、地域の活性化や交流活動。COC+参加校との協働活動。

●広島市立大学COC+宮島教育研究施設 (通称:サテライトハウス宮島)
[所在地] 廿日市市宮島町672番地(旧「因幡邸」)
[開設年] H28年10月からH32年3月まで(予定)
[施設概要] 宮島における貴重な町家のひとつ。木造切妻造りの京都型町家建築で、通り土間や坪庭を有す。空き家であった建物を借り上げ、家財整理や一部補修を実施。
[活用内容] 宮島をテーマにした作品制作や展示、講座・セミナーの開催、フィールドワークの拠点。(利用者: 本学とCOC+参加校の教職員・学生)

1 地域志向型の教育カリキュラム改革と実践 広島市立大学の「地域貢献特定プログラム」

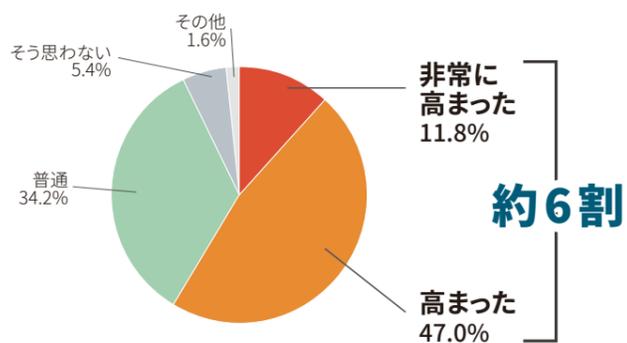
地域への窓を開く科目構成(23科目)

広島を知る、感じる、問う、挑戦する4つのステップにより、地域の特性や課題の理解力、総合的視野からの企画力、ネットワークの形成・調整力、専門性を発揮する能力を育成します。

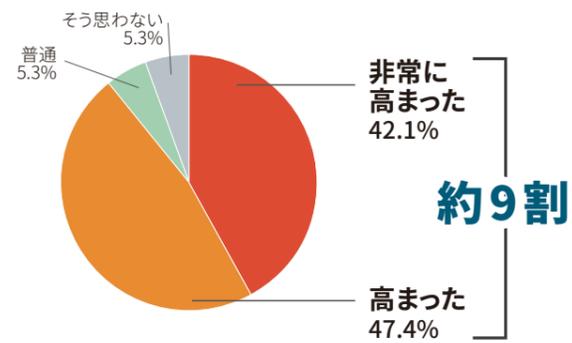


受講により地域への関心が高まっている (H29年度)

「ひろしま論」の履修学生



「地域再生論入門」の履修学生



地域の最新の観光動向を織り込んだ授業を提供

「広島の観光学」(H28年度～)

事業協働地域25市町の現場調査やヒアリングを基に講義を構成



地域再生に向けた人々の熱意を学生に伝える

「地域再生論入門」(H29年度～)

人口減少社会にありながらも持続性を目指すシステムや実践例を紹介



情報学から観光事象をとらえる新しい分野

「観光情報学」(H29年度～)

観光関連データベースなどを用い観光地での人の行動やイメージを分析



現地学習やグループワークにより地域の魅力や課題を理解

「地域課題演習」(H29年度～)

10地域に演習候補テーマを設定し、6テーマを実施。

●履修学生61名(2年生の15%) ●担当教員21名(全教員の10%)



COC+参加大学間の単位互換を実施(H29年度～)

集中講義形式や遠隔講義システム活用。6校17科目の地域志向科目を互換



「マツダ共創ゼミ」を開講(H29年度～)

広島発の新たな価値(モノ)を社会に提供する人材の育成を目指す。(寄付講座)



2 地域に向き合う教育研究事業の実施

参加校協働によるアートプロジェクトなどの地域活動

アートプロジェクト 5つのエリアの10の地域で展開

❖「広島ニュートラベル」

アート活動により人をいざない交流する

H29年度は、5つのエリアごとにテーマを設けて活動。学生が地域に入って交流し触発されながら制作する中で、地域への関与や貢献する意識が育っていきます。

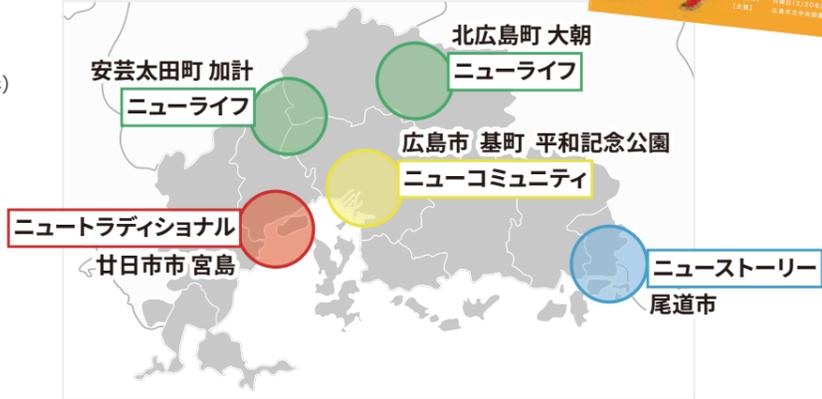
- 廿日市市 宮島双六プロジェクト(油絵)
宮島ものづくり産業復興プロジェクト(漆造形)
宮島染織プロジェクト(染織)
- 広島市 基町プロジェクト(合同)
観光客に伝えたい新しい広島(視覚造形)
広島ピースプロジェクト(映像メディア造形)
- 北広島町 筏津プロジェクト(彫刻・立体造形)
- 安芸太田町 たたらプロジェクト(金属造形)
- 尾道市 尾道プロジェクト(現代表現)
日本画風景プロジェクト(日本画)

❖基町プロジェクト

学生が主体となった文化芸術活動や地域交流で地区を活性化する
もとまちカフェ / グローカルキッチンプロジェクト
Mトーク / モトマチ・アートウィンドウ
創造・交流拠点づくり / 基町、昔の写真展
シンポジウム・プロジェクト展開



アートプロジェクト2017 広島ニュートラベル



「宮島ものづくり産業復興プロジェクト」
伝統の轆轤技術を継承する



「宮島染織プロジェクト」
「宮島に平和の明かりを灯そう」をテーマに空間演出



「筏津プロジェクト」(北広島町)
現地の素材から彫刻作品を産み出す



「たたらプロジェクト」(安芸太田町)
たたら製鉄の歴史を学び金属造形を創造する



「尾道プロジェクト」
現代表現アートで空き家再生に取り組む



基町プロジェクト(広島市)
高齢化した都心部の住宅地区に、コミュニティの再生を目指す学生の力が新風を送りこむ



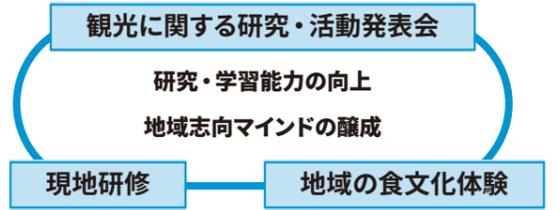
参加校協働研究事業

参加校による地域協働の教育研究活動

- 広島大学 「弥山原始林の保全・活用」(観光資源研究)
- 尾道市立大学 「尾道プロジェクト」(空き家活用とアート)
- 広島経済大学 「宮島等の観光資源の再発見と発信」(調査)
- 広島工業大学 「宮島・土曜講座」(まちづくり講座)
- 広島国際大学 「中山間・島しょ部交流」(地域活性化)
- 広島修道大学 「もとまちカフェ」(地域交流)
- 安田女子大学 「グローバルキッチンプロジェクト」(食文化交流)
- 広島商船高等専門学校... 「島しょ部高齢者健康調査」(地域活性化)

「大学連携による観光に関する研究・活動発表会」

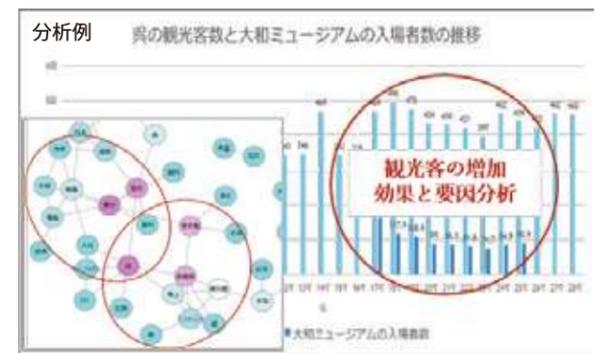
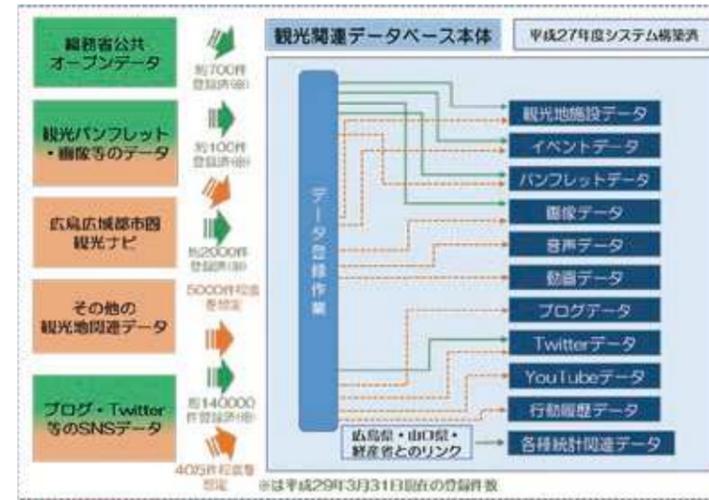
H29年12月に、7大学により宮島で開催(協力校として比治山大学が参加)



3 観光関連データベースの構築

地域の観光情報の集積と分析・活用

事業協働地域の観光施設等の情報を収集して登録するのみならず、テキストマイニング手法※により自動収集した観光に関するブログや、GPSデータにより観光客の行動履歴を収集して登録している点に特徴があります。H29年度に「地域課題演習」や「観光情報学」において活用・試用しました。今後、教育研究の素材とするのをはじめ、参加校や自治体・企業に活用していただくことを想定し、事業協働機関からも閲覧できるように、セキュリティを含めた運用方法等について調整を行います。



※テキストデータの分析方法。通常の文章からなるデータを単語や文節で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関や傾向、時系列などを解析することで有用な情報を取り出す。

4 インターンシップの強化

学生の意識を地元企業に結びつける



学生に地元企業への興味・関心を持ってもらうことによって、地元企業への就職に結びつくことを目指して、学生のキャリア形成の支援の充実を行いながら、地元企業へのインターンシップの参加者の増加を図るための取り組みを進めています。地元のインターンシップ受け入れ企業等の数は、H27年度の58社・団体からH28年度は70社・団体に増えています。

広島市立大学インターンシップ実施状況

学生の参加	H27年度	H28年度
企業等インターンシップ	42名(39)	63名(47)
広島市有給長期インターンシップ	5名(5)	3名(3)
広島県インターンシップ促進協議会	2名(0)	1名(0)
その他のインターンシップ	6名(0)	3名(0)
合計	55名(44)	70名(50)

(注) 学生が本学キャリアセンターの仲介を経ることなく、企業に直接申し込んで実施するインターンシップの参加者数を含んでいない。() は、COC+事業協働機関におけるインターンシップ参加者数で内数。

COC+の外部評価

観光振興による地域創生に向けた人材育成事業外部評価委員会
委員長は船山仲他 神戸市外国語大学名誉教授 (前理事長・学長)
ほか委員4名

■ H27年度事業の評価
「計画に沿った実績となっている」

■ H28年度事業の評価
「計画を上回った実績を挙げている」



事業協働協議会・フォーラムの開催

協議会

66の事業協働機関に活動の報告や事業計画を説明

- H27年12月4日 (55機関参加)
- H29年1月24日 (37機関参加)



フォーラム

事業の推進にあたって地域の情報や知見を共有

- H28年3月5日 (220名参加)
- H29年1月24日 (174名参加)



地(知)の拠点

9校が連携



広島市立大学COC+地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 地域に定着し貢献する人材の育成

育成を目指す人材像

- 地域の特性や課題を理解している
- 総合的視野から企画できる
- ネットワークを形成、調整できる
- 専門性を効果的に発揮できる



対象地域は、広島広域都市圏の市町と尾道市の25自治体

広島市立大学の人材育成のためのカリキュラム

広島を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」

- 1 地域志向の教育カリキュラムを実施
広島観光学、地域再生論入門、地域課題演習など多彩に開講
- 2 参加大学等が協働し教育研究事業を実施
学生による各地でのアートプロジェクトや地域活動など
- 3 観光関連データベースの構築
集積した観光情報を教育研究や観光の振興に活用
- 4 インターンシップの強化
地元企業の魅力を知る機会を増やす取組など

事業テーマ=地域の観光振興・活性化

学生の地域内就職率の向上を目指す

事業協働機関等

(大学等9校) 広島市立大学、広島大学、尾道市立大学、広島経済大学、広島工業大学、広島国際大学、広島修道大学、安田女子大学、広島商船高等専門学校
(自治体25市町) 広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、岩国市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町
(経済団体・企業・NPO法人32機関) 中国経済連合会、広島商工会議所、広島経済同友会、広島県経営者協会
オタフクソース(株)、(一社)尾道観光協会、呉信用金庫、(株)グリーンヒルホテル尾道、(公財)コミュニティ未来創造基金ひろしま、山陽工業(株)尾道国際ホテル、(株)中国新聞社、西中国山地観光施設等連絡協議会、日工(株)、(株)ハイエレコン、(公財)広島観光コンベンションビューロー、(株)広島銀行、広島市信用組合、(公財)広島市文化財団、広島信用金庫、広島電鉄(株)、(株)広島東洋カーブ、広島日野自動車(株)、(公財)広島平和文化センター、(株)福屋、(株)プリンスホテル グランドプリンスホテル広島、(株)ホテルグランヴィア広島、(株)ホライズン・ホテルズ ANAクラウンプラザホテル広島、マツダ(株)、(株)もみじ銀行、(株)山本屋、特定非営利活動法人キャリアプロジェクト広島、特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター (企業等・NPO:五十音順)
(事業の一部を協力する大学) 比治山大学



【編集発行】H29年10月

広島市立大学社会連携センター 〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
TEL 082-830-1542 FAX 082-830-1555 <http://www.cocplus-hiroshima-cu.com/>